

徳丸不動町会

徳丸不動町会は、昭和35年、現徳丸協栄会から分離独立し、町内に中尾不動尊が祀られていることから不動町会と命名されました。町会管内では約620世帯、1,043人の住民が生活しており、このうち5割弱が町会員です。

町会設立以来、「隣近所と仲良くし、助け合うことを目的とする。」という発足時の会則の趣旨にのっとり、青少年健全育成、防災防火・防犯活動、板橋クリーン作戦、敬老事業、区主催事業への協力等々、町会員の安心・安全なまちづくりを目指して日々活動を続けてまいりました。

町会活動の担い手の高齢化や町会加入率の低下は、当会においても深刻な問題になっています。時代の変化に伴う地域環境の変化に加え、昨今では新型コロナウイルス感染症の拡大で地域の会合や町会活動が停滞を余儀なくされています。このような時だからこそ、地域の連帯を強め、会員の親睦を図りながら「みんな仲よく、住みよいまち」づくりのための地道な活動を続けていくことが大切だと考えております。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



中尾不動尊前から見た不動通りの風景